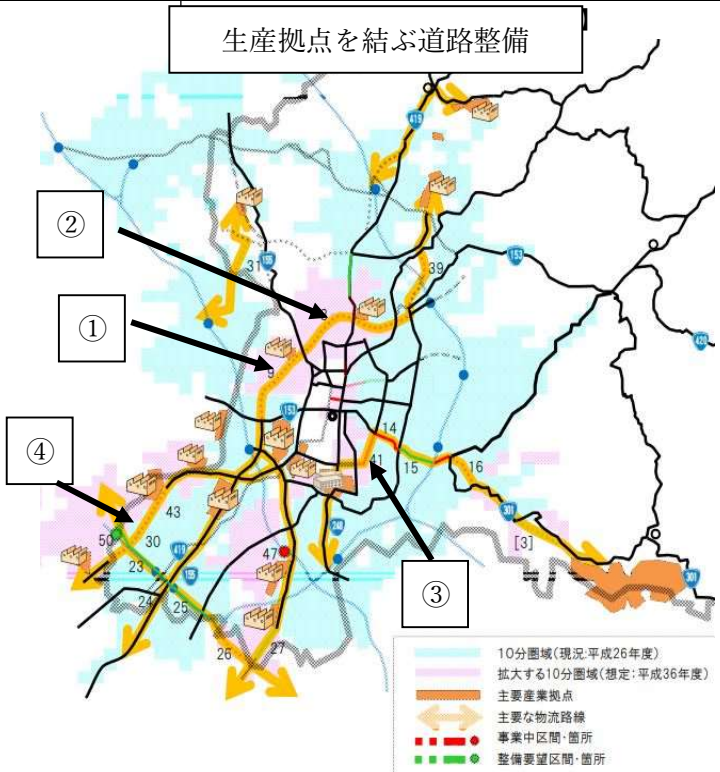


豊田市	所属議員	吉野、作元、中村、古木、塩谷、日當、鈴木、中尾、倉山、山本
-----	------	-------------------------------

産業目線

【活動項目】 ④産業道路環境		【活動テーマ】 アクセス道路の整備
到達目標	・ 主要幹線道路整備事業の早期完了 （国道 301 号松平バイパスの令和 2 年度末開通完了）	
前回まで 活動状況	・ 国道 301 号線松平バイパス開通 ・ 上郷スマートインター開通 ・ 3 月議会にてアクセス道路の整備に関する代表質問実施	
今回 具体的活動	＜3 月議会にてアクセス道路の整備に関する代表質問内容確認＞ ●市担当部署（建設部）へヒヤリング実施 1、令和 3 年度 幹線道路の整備予定確認結果 ①国道 155 号 豊田南バイパス ・ 関連市道用地 2 路線取得、道路改良 2 路線 ②国道 153 号 豊田北バイパス ・ 関連市道用地 6 路線取得、道路新設 2 路線 ③内環状線 高橋細谷線 ・ 野見御立工区ほか 2 工区、用地取得、道路改良 ④豊田刈谷線 ・ 本田西岡工区、中田工区、大島工区、用地取得、道路改良 （上記は代表的な道路整備を紹介） 2、確認結果への考察 ・ 計画通り工事は進んでいるが、用地買収が完了していない ・ 用地も有るため、今後の進捗も確認フォローが必要である。	
今回の進捗 【○】	◎…予定前倒し ○…予定通り △…遅れあり	
今後の活動	・ 引き続き国県市道路整備への早期工事完了を働きかけていく。	
	・ 2022 年度に向け市長への政策要望を行なう。（要望は令和 3 年 8 月 19 日予定）	



豊田市	所属議員	吉野、作元、中村、古木、塩谷、日當、鈴木、中尾、倉山、山本
-----	------	-------------------------------

組合員目線

【活動項目】 ①交通安全		【活動テーマ】 高齢者及び歩行者保護モデルカー活動への取組
到達目標	・高齢者及び歩行者の事故防止をすすめることで令和2年度の愛知県交通死亡事故ワーストワン返上に寄与する（令和2年度、交通事故 死傷者数1500人以下） （2040年までに死傷者数720人以下・うち高齢者を100人以下・死亡数を0人）	
前回まで活動状況	<過去一般質問に対する実施状況確認> ①「止まってくれてありがとう運動」の推進 ②「ぴかっとわたるくん」の設置 ③自転車用ヘルメット購入補助	
今回 具体的活動	<高齢者への外出支援・免許証自主返納促進の要望に対する取組> 1、<u>デマンド型乗り合いサービス「チョイソコ」を上郷地域バスに導入</u> ・豊田市、株式会社アイシン及び株式会社ATグループとの3者による連携協定 <役割> ・豊田市： <u>チョイソコを導入する地域の選定、地域住民との調整</u> ・(株)アイシン：運行事業者と連携した移動手段の提供、協賛事業者の募集 ・(株)ATグループ：地域住民の <u>外出促進につながるサービスの創出と提供</u> <効果> 利用したい停留所や時間を予約できるようになることで、よりよい移動環境が提供できる。また、3者及び地域が連携して外出目的を創出することで、 <u>高齢者をはじめとした地域住民の外出を促進させる。</u> 令和3年10月5日 運行開始 ● <u>該当地区の担当議員や協賛会社出身議員を中心に市と地域の調整時に限り、運用方法への要望等をおこなった。</u>	
	【図や活動の様子が分かる写真など】 	
今後の活動	・「チョイソコ」による高齢者の外出促進状況の確認。（R4年3月末） ・歩行者保護の成果を確認し、更なる交通安全の取組を行政への働きかけを行っていく。（要望は令和3年8月19日予定）	

(参考) 豊田市 テーマ登録背景

(1)産業目線 産業目線①～④項目から選択

豊田市取り組み項目	④産業道路環境
豊田市取り組みテーマ	アクセス道路の整備
選定理由・背景・思い	組織内議員の具体的取り組み内容
ものづくりの中心を担い役割を果たすためには、円滑な市民生活・企業活動の生産性を向上させるべく、主要渋滞箇所を中心とした渋滞箇所への対策が必要である。さらに、都市と農山村地域を結び、災害時などへの信頼性の向上や地域の活性化など、多くの課題も抱えている。今後、安心安全な暮らしの確保を図り、更なる都市の成長、都市機能の充実・強化し、産業活動を支えるためボトルネックの解消が必要。	・幹線道路の整備状況把握 ・「豊田市幹線道路整備促進協議会」の動向調査 ・国、県と関係強化 ・市へアクセス道路整備の要望

(2)組合員目線 組合員目線①～⑥項目から選択

豊田市市取り組み項目	①交通安全
豊田市市取り組みテーマ	高齢者及び歩行者保護モデルカーへの取組
選定理由・背景・思い	組織内議員の具体的取り組み内容
豊田市においては、豊田警察署と連携し歩行者優先の「歩行者保護モデルカー活動」を展開しているが交通事故死者数において、県下ワースト2の状況であり。更に、近年、全国で高齢ドライバーによるアクセルとブレーキを踏み間違え人命を奪う痛ましい事故が頻発している。そのため歩行者保護モデルカー活動の取組と高齢ドライバーによる事故を撲滅する取り組みが必要である。	・行者用横断信号機のない個所への押しボタンによる点滅注意喚起施設「ピタッとわたる君」の効果確認と拡大促進 ・付け運転支援装置の取付け状況確認 ・活道路におけるゾーン30等の対策状況調査と拡大促進